

再評価結果（平成29年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：川崎 茂信

事業名	一般国道8号 <small>しろね</small> 白根バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 北陸地方整備局
起終点	自：新潟県新潟市 <small>みなみくほさか</small> 南区保坂 至：新潟県新潟市 <small>みなみくどがしら</small> 南区戸頭	延長	5.9km		
事業概要 国道8号白根バイパスは、「交通渋滞の緩和と交通事故削減」、「快適で安心安全なまちづくりの推進」、「物流の効率化による企業の生産性向上と地域産業の活性化」などを目的とした延長5.9kmのバイパス事業である。					
H3年度事業化		S63年度都市計画決定		H9年度用地着手	
H12年度工事着手					
全体事業費	約400億円	事業進捗率	58%	供用済延長	3.9km
計画交通量	26,900～41,300台/日				
費用対効果 分析結果	B/C	総費用	総便益	基準年	
	(事業全体) 1.2 (残事業) 2.8	(残事業)/(事業全体) 189/438億円 〔事業費：139/388億円 維持管理費：50/50億円〕	(残事業)/(事業全体) 529/529億円 〔走行時間短縮便益：433/433億円 走行経費減少便益：70/70億円 交通事故減少便益：27/27億円〕	平成25年	
感度分析の結果					
(事業全体) 交通量		B/C= 1.1～1.4 (交通量±10%)		(残事業) 交通量	
事業費		B/C= 1.2～1.2 (事業費±10%)		事業費	
事業期間		B/C= 1.1～1.3 (事業期間±20%)		事業期間	
B/C= 2.5～3.2 (交通量±10%)		B/C= 2.6～3.0 (事業費±10%)		B/C= 2.6～3.0 (事業期間±20%)	
事業の効果等					
定性的な効果					
①新潟市南区における公共交通の機能強化					
・新潟市南区では混雑時間帯等の路線バスの定時性・速達性向上、現道区間から通過交通を排除することによる、現道区間の走行性向上が課題となっており、白根バイパスの整備により「都市基盤と公共交通の機能強化」を進める南区のまちづくりに寄与する。					
②地域産業の活性化					
・事業区間周辺には複数の工業団地等が立地、航空機産業の支援など新たな産業を支える拠点もあり、白根バイパスの整備は、物流効率化による生産性向上や地域産業の活性化等に寄与する。					
③第三次医療施設へのアクセス向上					
・白根バイパスの整備により、第三次医療施設である新潟市民病院の南区内における30分圏域カバー人口が増加するなど、迅速な救急搬送に貢献する。					
④現道区間の沿道環境改善					
・白根バイパスの整備により、大型車等が現道からバイパスに転換することで、騒音など沿道環境の改善が期待できる。					
⑤冬期における円滑な交通の確保					
・国道8号現道利用者（冬期に関するアンケート）の多くは積雪時の交通集中状況について問題を感じており、白根バイパスの整備により冬期の円滑な交通の確保が可能となる。					
関係する地方公共団体等の意見					
地域から頂いた主な意見等： 国道8号白根バイパスは、市内外の交流・連携の活性化に向けた機能強化のほか、地域産業の活性化や路線バスの定時性・速達性向上を始めとする本市南区におけるまちづくり施策の支援など様々な効果が期待されることから、引き続き事業を継続し、早期完成に向けて速やかな事業執行をお願いしたい。					
事業評価監視委員会の意見					
審議の結果、再評価及び対策方針(原案)の「事業継続」は妥当である。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等					
・平成16年度に市町村合併で旧白根市が新潟市となる。 ・平成26年度に暫定2車線で部分供用したが、未供用区間の現道で混雑が発生しており早期の全線供用が必要。					

事業の進捗状況、残事業の内容等

事業の進捗状況：用地進捗率99%、事業進捗率58%（平成28年度末予定）

残事業の内容：新潟市南区保坂～同区鮭潟間の暫定2車線整備、全線4車線化

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

新潟市南区保坂から同区鮭潟間（2.0km）については平成30年度の全線暫定2車線化に向け工事を推進するとともに、4車線化については、交通状況を勘案しつつ整備を進める。

施設の構造や工法の変更等

建設発生土の有効活用や新技術の活用等により、コスト縮減を図る。

対応方針

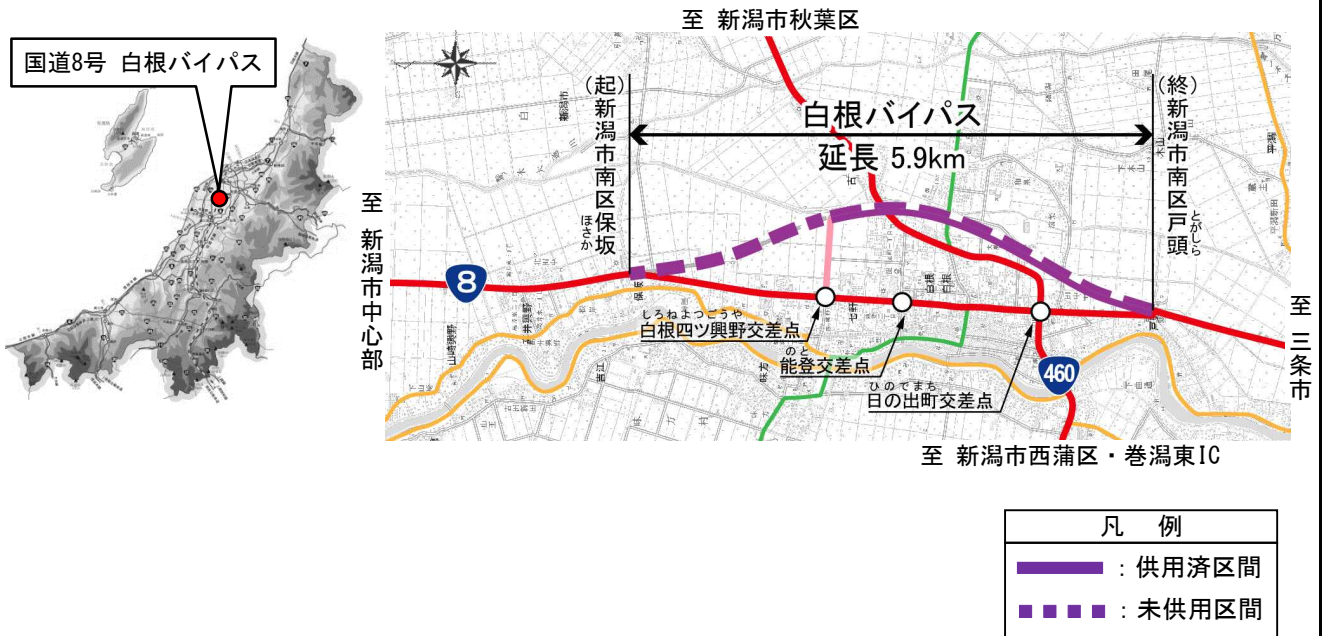
事業継続

対応方針決定の理由

白根バイパスは、日本海側の広域幹線道路として、また物流や新潟都市圏の拠点間の連携軸として重要な路線である。

白根バイパスの整備によって、交通渋滞の緩和と交通事故削減、快適で安心安全なまちづくりの推進、物流の効率化による企業の生産性向上と地域産業の活性化など、期待される効果は大きいため事業を継続する。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。